

Info Mart

インフォ・マート

自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ

04-2998-7777 | <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol.70



Weekend
Piano Series

コンクールの
輝ける星たち... ▶ P1

宮田大 チェロ

輝く才能の素顔に迫る... ▶ P3



コンクールの輝ける星たち

世界最高峰のコンクールでその才能を認められ、輝きを放ち つづける名手たち。コンクールの歴史と光輝く才能に迫る。

世界最高峰のコンクール！

才能ある若き音楽家が集う、世界でも最高峰と目される3つのコンクール。

チャイコフスキー国際コンクール

世界最高峰のコンクールの1つ。1958年以来モスクワで開催。東西冷戦の時代にソビエト文化の威信をかけて始まったが、第1回ではなんとアメリカ人のクライヴァーンが優勝をさらいセンセーションを巻き起こし、旧ソ連とアメリカの外交にまで影響を与えたといわれる。その後ピアノではアシュケナージ、ガヴリーロフ、弦楽器ではクレメル、マイスキー、諏訪内晶子、神尾真由子などが優勝している。2002年には上原彩子がピアノ部門初の女性優勝者（日本人としても初）となり世界に衝撃を与えた。



チャイコフスキー・コンクール
第1回優勝者ヴァン・クライバーン (1958年)



チャイコフスキー・コンクールでの
上原彩子 (2002年)

ショパン国際ピアノ・コンクール

チャイコフスキー・コンクールと並び世界でも最も権威あるコンクール。1927年よりワルシャワで開催。ショパンにちなみピアノ部門のみの開催だが、ボリーニ、アルゲリッチ、ツイメルマン、ブーニン、ユンディ・リ、アヴデーエワなどの優勝者を輩出し伝説的な名演奏を生んできた。特に2010年のアヴデーエワはアルゲリッチ以来45年ぶりの女性優勝者として熱狂的に迎えられた。日本人は1970年の内田光子の2位を筆頭に、3位に横山幸雄、4位に中村絃子と小山実稚恵が食い込んでいる。



ショパン・コンクール第7回優勝者
アルゲリッチ (1965年)



ショパン・コンクールでのアヴデーエワ (2010年)

ロン＝ティボー国際コンクール

パリで開催されるフランス最高峰のコンクール。1943年に20世紀最大のヴァイオリニストの1人ジャック・ティボーと当時最高の女流ピアニスト、マルグリット・ロンが創設。ピアノのフランソワ、チッコリーニ、ヴァイオリンのオクレール、フェラスなど洗練された音楽性の持ち主を多く輩出し、以来世界でも最も権威あるコンクールの1つに数えられる。横山幸雄が1989年に3位に入賞したほか、榎本大進（ヴァイオリン）、清水和音（ピアノ）らが栄冠を獲得している。



ロン＝ティボー・コンクールの創設者
マルグリット・ロン



第4回コンクールでジャック・ティボーを囲むファイナリスト
(1951年)

Weekend Piano Series

全3公演
子チケット
絶賛発売中

アークホール 14:30 開場 15:00 開演
3公演S席セット券 ¥7,000
(メンバーズ特別価格 ¥6,000)

※ミュージックチケット
カウンターのみ取扱

9/28(日) 上原 彩子 S席 ¥2,500 A席 ¥2,000
11/ 2(日) ユリアンナ・アヴデーエワ ... S席 ¥3,500 A席 ¥3,000
2015 2/28(土) 横山 幸雄 S席 ¥2,500 A席 ¥2,000

上原彩子

2002年チャイコフスキー・コンクール優勝
コンクール史上初の女性優勝者

2002年、上原彩子の「チャイコフスキー・コンクール優勝」というニュースは衝撃的だった。長いチャイコフスキー・コンクールの歴史のなかでピアノ部門初の女性優勝者、しかもそれが日本人。さらに音楽大学で学んだことがないという特異な経歴も大きな話題になった。アシュケナージ、プレトニョフ、ガヴリーロフといった剛腕揃いの過去の優勝者を見れば、上原彩子に与えられた評価の高さがわかるだろう。優勝直後のチケット争奪戦のようなブームは去ったが、その後も一流オーケストラと共演を重ね、EMIクラシックと日本人ピアニストとして初の契約を結ぶなど、評価は揺るぎないものとなっている。ロシアの大作作曲家ソルゲスキの「展覧会の絵」をメインに据えたプログラムで日本が世界に誇る稀代の才能をご堪能いただきたい。



© K.Miura

ユリアンナ・アヴデーエワ

2010年ショパン・コンクール優勝
アルゲリッチ以来45年ぶりの快挙

伝説的な名ピアニストを生み出したショパン・コンクール。2010年の優勝をさらったのが、アルゲリッチ以来45年ぶりの女性優勝者ユリアンナ・アヴデーエワ。輝くような美しいタッチ、鮮やかなテクニックはもろろんのこと、アヴデーエワの最大の魅力は楽譜の読みの深さと成熟した音楽性。音の輝きだけで聴き手を圧倒するヴィルトゥオーゾ・タイプとは一線を画す知性的なアプローチでコンクールを制した。45年前の優勝者で審査員を務めたアルゲリッチも「明日から私たちのショパン演奏は変わるかもしれない」とその才能を讃えた。優勝後、ヨーロッパの名ホールや指揮者と共に演奏するだけでなく、ショパンの時代のフォルテピアノの演奏に取り組み、自筆譜をもとに楽譜を洗い直すなど、冷静な歩みを進めるアヴデーエワが所沢ミュージズで披露するのは代名詞ともいえるショパンの名曲集、そして祖国ロシアの大作作曲家プロコフィエフの大作「戦争ソナタ」。新しい時代の扉を拓く卓越した音楽を感じていただきたい。



横山幸雄

ショパン、ロン＝ティボーの
両コンクールで3位入賞
洗練された表現で魅了しつづける天才

89年ロン＝ティボー・コンクール3位、90年ショパン・コンクール3位から早や四半世紀が経とうとしている。横山幸雄を語るのに、もはや過去のコンクールの栄光は必要ないかもしれない。20代から異様なまでの読譜力と切れ味鋭い技巧は他を圧倒していた。世界でも最も素晴らしいリスト演奏に贈られる「国際リスト賞」を横山幸雄の「超絶技巧練習曲集」のCDが受賞したのは、その実力を端的に物語っている。2011年に行った前人未到の18時間に及ぶ「ショパン・ピアノソロ全212曲演奏会」は全曲暗譜であること、ギネス記録を更新したこと、話題となったが、なにより重要なのは演奏が極めて高い技術と表現力に支えられ感動に満ち溢れていたことだろう。

この先、横山幸雄がどのような新境地を切り拓いていくのか誰も想像できないかもしれない。しかし、ショパンの作品中でも最も高いテクニックを要求される「12の練習曲 作品10」を軸にした所沢ミュージズの公演では、その卓越した才能の未来を感じる事ができるはずだ。



© Masafumi Nakayama

第二の母、倉田澄子先生

3歳からチェロを始めました。元気な子で少し落ち着きがなかったみたいで、それで集中力をつけさせようと、座って弾くチェロを両親が習わせたようです。3歳から中学1年生までは父にチェロを学び、それから倉田澄子先生①につきましました。倉田先生は「第二の母」といえるような大切な存在で、チェロだけでなく人間的にもいろいろなことを教えてもらいました。とても心の広い方で、中学のときバレーボールで突き指をしてしまった時も、全然怒ることもなく見守ってくれました。高校で音楽科に進学する頃、演奏家としての意識が芽生え始めましたが、倉田先生の温かい指導あつてのことだと思います。

留学時代。スイスからドイツへ

ジュネーヴ音楽院では、タカチ弦楽四重奏団の第1ヴァイオリンのカヴォール・タカチ先生に師事しました。タカチ先生からは、無理して何かを作ったり、飾り立てるのではなく、自分のなかにある経験を見つめ直しそれを出せばいいと言われ、気持ちがあふれました。日本酒を飲まれては酔いでレッスンしたこともあり、とにかく音楽する楽しさを教えていただきました。

ドイツのクロンベルク・アカデミーでは、チェロのヘルメルソン先生②に師事しました。その頃は海外で演奏する機会も増えて、どのように自分の個性を出したらよいか模索していましたが、先生、くんだり、小澤さんと同じ音楽の流れのなかでリラックスして演奏できました。小澤さんからは、きれいな音だけではだめ！崖から一歩踏み出すくらい弾いていい、と言われました。ロマンティック過ぎるくらいに弾いても小澤さんが様式の枠組みをしっかりとつくるくださるので安心して弾けました。

メンデルスゾーン、バルトーク、そしてファジル・サイ

所沢ミュージックで演奏するメンデルスゾーンのチェロ・ソナタ第2番は29歳の頃に作曲された曲ですが、その年齢に近い今の自分が表現するところになるのか楽しみです。この曲はロストロポーヴィチ・コンクールの二次審査で弾き、深く勉強して体に沁み込んでいる作品です。コンクールの審査員ムニエさんから、「君の優勝はメンデルスゾーンの第3楽章で決まったんだ」と後日聞かされた想い出の多い曲でもあります。

ハンガリーのバルトーク、トルコのピアニスト、ファジル・サイの作品は、共に民族的な要素が豊かにあって大好きな曲です。音楽を聴くといろいろなイメージが湧いてくるし、アジア的な要素もあって思い切った表現にチャレンジしやすい曲ですね。ひと味違った宮田大を聴いていただけたと思います。所沢で皆さんと音楽を一緒に感じられるのを心待ちにしています。また、所沢ミュージックの素晴らしい響きのなかで演奏することをいまから楽しみにしています。

宮田大

ロストロポーヴィチ・コンクール優勝 チェロ界の新星

2009年、日本人初となるロストロポーヴィチ・コンクール優勝から5年。クレメール、小澤征爾、ヴェンゲーロフなどと共演し、国際派チェリストとして存在感を増す輝く才能の素顔に迫る！



からは「音楽を作る (Make Music)」ではなく「音楽を感じる (Feel Music)」ということを言われました。音楽をよく感じて、失敗を恐れずに感じた通りに弾く。もし失敗したとしても、それはいまの自分の個性のひとつだ、と言われ表現の幅が広がった気がします。このアカデミーでは、チェロの先生だけでなくヴァイオリンのクレメール③やピアノのシフ④など超一流の講師のレッスンがあり、本当にいろいろなことを学びました。シフ先生とレッスンしたブライムスのチェロ・ソナタはとても記憶に残っています。

2009年、ロストロポーヴィチ・コンクール優勝

が創設したコンクールで日本人として初めて優勝することができましたが、人と競うというより1曲ごとに演奏会の感覚で弾いていました。優勝が決まったガラ・コンサートでは、嬉しさや安堵感もありましたが、いつもはホールの隅っこで聴いている父と母が前から3列目の真ん中の席に座らされていて、ドヴォルザークの協奏曲を演奏しているときに感謝の気持ちとかいろいろものがこみ上げてきて涙が出ました。

小澤征爾さんとの共演

小澤征爾さんの指揮で水戸室内管弦楽団と共演したハイドンも、とても記憶に残っています。⑥初日の水戸の公演では、小澤さんと対話をしながら頑張っていたが、東京の公演では天皇・皇后両陛下もご臨席、



1「第二の母」倉田澄子先生



2 フランス・ヘルメルソン先生とのレッスン



3 ギドン・クレメール先生とのレッスン



4 アンドラーシュ・シフ先生とのレッスン



5 ロストロポーヴィチ・コンクールで優勝



6 小澤征爾指揮・水戸室内管弦楽団との共演

宮田大 チェロ・リサイタル

7月20日(日) 14:30 開場 15:00 開演 マーキーホール 全席指定 ¥2,500
 ピアノ ◆ 鳥羽亜矢子
 曲目 ◆ バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
 ファジル・サイ：4つの都市
 メンデルスゾーン：チェロソナタ第2番

チケット絶賛発売中

※未就学児の入場はご遠慮ください。



大人のための
**ワンコイン
コンサート**
注目のラインナップ

500円

2010年よりスタートした「大人のためのコンサート」。「ワンコインで素晴らしい演奏を気軽に聴ける!」と、大好評です。2014年度も注目のアーティストが勢ぞろい。今聴きたい実力派の演奏を心ゆくまでご堪能ください!

洗練された響き! 色彩感あふれるフランス音楽に包まれて

6.6(金) | 福間 洸太朗 (ピアノ)
ショパン: 舟歌 サティ: ジュ・トゥ・ヴ (福間編曲) ほか
1982年、東京生まれ。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学・同大学院で研鑽を積む。20歳でクリエーション国際コンクールに日本人初の優勝(「ショパン賞」同時受賞) ほか受賞多数。欧米をはじめ世界を舞台に活発な演奏活動を行う若きヴィルトゥオーゾ。

ベルリンの名門オケでコンマスを務める逸材! パッサと向き合う瞬間

11.1(土) | 日下 紗矢子 (ヴァイオリン)
J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第1番・第2番
1979年、兵庫県生まれ。東京藝大を首席で卒業後、米・南メソティスト大およびフライブルク音大に留学。バガニーニ国際コンクール第2位。出光音楽賞ほか輝かしい受賞歴を誇る。2008年ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団第1コンサートマスター就任。2013年より読売日響のコンマスマも兼務。パッサ集の新譜CDは高く評価され、平成25年度文化庁芸術賞「優秀賞」を獲得。注目の実力派ヴァイオリニスト。ベルリン在住。

気鋭のアーティストが集結! 輝く才能の共演をお見逃しなく

2015 **2.13(金)** 荒 絵理子 (Ob) 吉田 誠 (Cl) 福士 マリ子 (Fg) 福川 伸陽 (Hr) 三浦 友理枝 (Pf)

**モーツァルト & ベートーヴェン
音楽の都ウィーンの燦く室内楽**

ベートーヴェン: ピアノと管楽器のための五重奏曲 op.16
モーツァルト: ピアノと管楽器のための五重奏曲 K.452

各公演共通
● 12:30 開場 13:00 開演 ● アークホール
● チケット予約・購入の必要はございません。当日入口で500円をお支払い下さい。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ぬ事情により、出演者や内容が変更となる場合がございます。

近日開催

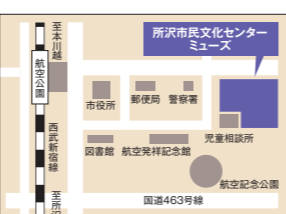
このほかにも多くの公演を予定しております。詳しくは、月刊情報紙ミュージズまたはホームページにてご確認ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

日時	会場	公演名	料金	曲目・出演者など
3/14(金) 19:00 開演	キューブ	小川紀美代 バンドネオン・メダンス 情熱と哀愁のアルゼンチンタンゴ	全席指定 ¥2,500	出演 / 小川紀美代 (Bn) GYU&夏美れい (Dance) 吉田篤貴 (Vln)、須藤信一郎 (Pf)
3/15(土) 15:00 開演	マーキー	藤村実穂子 メソ・ソプラノリサイタル	S席 ¥3,500 A席 ¥2,500	曲目 / マーラー: 「子供の魔法の角笛」より R.シュトラウス: 子守歌、僅れ ほか
3/21(金・祝) ~ 23(日)	マーキー	ミュージズ シネマ・セレクション 世界が注目する日本映画たち part14	1回券(日時指定) ¥800 1日券 ¥2,000 (日にち指定・前売のみ)	21日 13:30~ [おだやかな日常] 16:20~ [桐島、部活やめるってよ] 19:10~ [フラッシュバックメモリーズ3D] (2D上映) 11:00~ [さよなら溪谷] 14:15~ [その夜の侍] 17:30~ [横道世之介] 23日 11:00~ [箱入り息子の恋] 14:15~ [凶悪] 17:30~ [舟を編む]
3/23(日) 15:00 開演	アーク	ゲルハルト・オピッツ ピアノリサイタル	S席 ¥3,500 A席 ¥2,500	曲目 / ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」第14番「月光」、第17番「テンペスト」 ほか
4/5(土) 15:00 開演	アーク	侍 BRASS vs.? スーパリアンプラス [アラスカの祭典]	S席 ¥4,000 A席 ¥3,000 B席 ¥2,000 C席 ¥1,500	曲目 / 火縄銃、トランペットラブレター、熊蜂の飛行 プラス・カーニバル、バードランド ほか
4/12(土) 15:00 開演	キューブ	TABLATURA タブラトゥーラがやってくる!	全席指定 ¥2,800	出演 / つのだたかし、田崎瑞博、江崎浩司、近藤郁夫 山崎まさし
4/13(日) 15:00 開演	アーク	女神たちの「愛のうた」 千住真理子 (ヴァイオリン) 長谷川陽子 (チェロ) 仲道都代 (ピアノ)	S席 ¥4,000 A席 ¥3,500	曲目 / サン＝サーンス: 白鳥、マスネ: タイスの瞑想曲 チャイコフスキー: ピアノ三重奏曲 [偉大な芸術家の思い出] ほか
4/18(金) 19:00 開演	マーキー	第82回所沢寄席 春風亭小朝独演会	完売御礼	出演 / 春風亭小朝 ほか
5/17(土) 15:00 開演	アーク	ジョン・健・ヌッツォ [テノール]	全席指定 ¥3,000	曲目 / ヴェルディ: 「リゴレット」より「女心の歌」、[十字軍のロンバルディア人]より「私の喜びを」 ほか
5/31(土) 15:00 開演	アーク	シギスヴァルト・ワイケン [音楽監督] ラ・プティット・バンド	S席 ¥6,000 A席 ¥4,000	曲目 / J.S. バッハ: 管弦楽組曲全4曲 : ブランデンブルク協奏曲 第5番

チケットのお求めは……ミュージズチケットカウンター
04-2998-7777

チケット 0570-02-9999 / http://t.pia.jp
ローソンチケット 0570-000-407 / http://l-tike.com

※チケットぴあ・ローソンチケットともにインターネットでのチケット購入には事前登録が必要です。※公演日当日、駐車場は大変混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用ください。※公演情報は2014年2月24日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなることもございますので、ご了承ください。 ※P席はステージバック席です。



航空公園駅東口より徒歩約10分・バス約3分



パイプオルガン
歳時記

松居 直美

オルガニスト / ミュース音楽アドバイザー

vol. 6



パイプオルガン・ニューエイジ

ソチ・オリンピックでの日本人活躍のニュースに連日日本中が沸く中、この原稿を書いている。日頃、さして意識して生きているわけではないが、日本人であることを誇りに思う瞬間を多くの人と共有できるのは悪くない。オリンピックは4年に1度だが、音楽の世界にも「国際コンクール」というオリンピックがある。パイプオルガンのコンクールも実は盛んである。やはりヨーロッパが主流で、長い伝統を持つコンクール、歴史的楽器を用いたコンクールなども多いが、ロシア、アメリカ、日本でも定期的に行われ、結果、毎年世界のどこかでコンクールが開催され、若いオルガニストのチャレンジの場となっている。2012年は日本のメダル・ラッシュの年だった。9月から10月にかけてフランス、ドイツ、日本の国際コンクールで日本人が1位を独占したのだ。今までも日本人が優勝することはあったが、これだけ連続して「総なめ」にしたのは初めてである。世界のパイプオルガン界で、日本は長く「辺境」であった。教育が整備され、いろいろな施設に楽器が導入され、世代から世代へ、多くの人地道な努力が積み重ねられた成果が結実したといえるだろう。楽器も情報もなかった時代の先達の努力は大変なものだったに違いない。楽器が増え、裾野が広がり、その中から育ったのがこのメダリストたちである。

コンクールとはむろん、今も昔も優劣の順位をつけるものだ。その栄光を目指して勉強し、練習を重ねる。しかし勝負は時の運、いろいろな要因で実力が発揮できないこともある。だが、準備したこと、挑戦したこと、仲間や審査員との出会いなど、賞だけが収穫なわけではない。参加したことによって世界が広がり、新しいステージが始まる。日本にはあまり伝わってこないが、そのように

して、欧米で活躍する若い日本人オルガニストが増えている。ヨーロッパの音楽祭やロシアやアメリカのツアーの常連として旅に多忙な者、あるいはヨーロッパの音大で教鞭を執る者、大教会のオルガニストとして活躍する者など、その活躍の場はかつては想像できなかったほどに多岐にわたる。こちらとしては彼らにどんどん海外で活躍してほしいが、一方、帰ってきてもらいたくもある。そんなジレンマを抱いて風の便りを聞いているのだが、皆、やはり日本を忘れないで帰ってくる。若いエネルギーと豊かな経験を合わせもつ彼らが、日本にフレッシュな演奏と新しい風を吹き込んでくれることを心より願い、また、彼らを受け止める土壌を作る責任を感じている。

そのような「ニューエイジ」の旗手の1人、世界最高の音楽大学、フランス国立パリ高等音楽院卒のオルガニストが4月からミュズの第3代ホールオルガニストに就任する。梅干野安未(ほやの あみ)さん。穏やかな雰囲気とチャーミングな笑顔の彼女だが、演奏は情熱的。ロマン派音楽が大好きな、優秀で魅力的な女性オルガニストである。ミュズの施設内で、ホールで、梅干野さんを見かける機会、演奏を聴く機会が増えることと思う。どうぞ気軽に声をかけ、応援してあげてください。



Matsui Naomi
国立音楽大学、同大学院、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。在学中にブダペストとニュルンベルクの2つの国際オルガンコンクールで優勝し世界の注目をあつめる。繊細で美しい響きとダイナミックな音楽づくりに定評があり、リサイタルやベルリン・フィルなど一流オーケストラとの共演、またコンサートのプロデュースなど幅広く活躍。テレビやラジオなどへの出演も多く、聖徳大学・神戸女学院大学では音楽学部教授としてオルガンの指導もしている。所沢ミュージズでは、コンサートでの演奏のほかに、アドバイザー、オルガンスクール上級クラス講師も務める。

MUSE アークホール パイプオルガン公演 スケジュール

3/30(日)	MUSE パイプオルガンスクール生徒発表会 13:15 開演 入場無料 講師演奏: 松居直美、ジャン＝フィリップ・メルカールト
4/17(木)	“お昼どき”パイプオルガン500円コンサート ① 11:00 開演 (0歳から入場可、3歳以下無料) ② 14:30 開演 (未就学児の入場不可) ¥500 (当日支払い) 出演: ジャン＝フィリップ・メルカールト、梅干野安未



stage Report

12月7日
~2月9日

年末年始の所沢ミュージズは、幅広いジャンルの公演が行われ、どれも大盛況でした。次第に暖かくなり、お出かけには最適な季節がやってきます！皆様のご来場をお待ちしております。



2013

12/7 (土) ■ ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2013

〈アークホール〉
曲目 / 『ピノキオ』『リトルマーメイド』 ほか

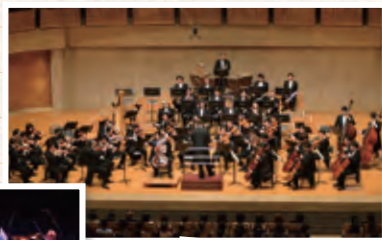


8 (日) ■ NBA バレエ団 「くるみ割り人形」

〈マーキーホール〉

14 (土) ■ シャルル・デュトワ指揮 NHK 交響楽団

〈アークホール〉
曲目 / ラヴェル: 組曲「クーブランの墓」、サン＝サーンス: チェロ協奏曲 第1番、ベートーヴェン: 交響曲第7番
ザルツブルク音楽祭で大成功をおさめたN響 & デュトワによる待望の所沢公演。水も滴るような美音のチェロ奏者カプソンのサン・サーンス。デュトワの鮮やかな造形が光るラヴェル。そして白熱のベートーヴェンで客席から盛大なブラーボが飛びました。



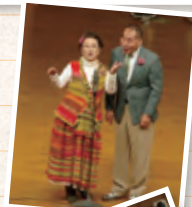
■ アンフォゲッタブル・コンサート Vol.11

〈マーキーホール〉
出演 / 国府弘子スペシャル・トリオ
[ゲスト] 渡辺香津美、根本要 from Stardust Revue



15 (日) ■ 週末よしもと 所沢お笑い祭り 年末スペシャル

〈アークホール〉
テレビでおなじみの面々が、所沢ミュージズに大集合! 宮川大助・花子、中川家、COWCOW、野性爆弾、はんにゃなど人気芸人のネタで場内は爆笑の連続、笑いの渦に包まれました。



20 (金) ■ “お昼どき” パイプオルガン 500円コンサート

〈アークホール〉
出演 / 椎名雄一郎 (オルガン)、淡野太郎 (バリトン)



21 (土) ■ WEEKEND PIANO SERIES クリスチャン・ツイメルマン

〈アークホール〉
曲目 / ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第30番、第31番、第32番



■ 所沢市生涯学習推進事業 チャイナでやっちゃん

〈並木まちづくりセンター〉



27 (金) ■ 音まちコンサート Vol.1 景山梨乃 ハープ・リサイタル

〈所沢市役所 1階市民ホール〉



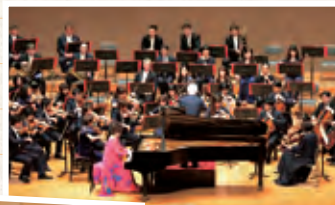
31 (火) ■ 2013 ズーラシアンプラス ジルバスター音楽祭

〈アークホール〉
曲目 / ジルバスター・ファンファーレ、マーチ DE ジブリ、ムーンコンチェルト、小さな世界 ほか

2014

1/11 (土) ■ MUSE ニューイヤーコンサート 2014

〈アークホール〉
出演 / 中村紘子 (ピアノ)、秋山和慶 (指揮)、東京交響楽団



18 (土) ■ 第81回所沢寄席「恒例初笑い! 開運らくご会」

〈マーキーホール〉
出演 / 林家木久扇、立川志らく、ナポレオンズ、ボンボンブラザース ほか

2/1 (土) ■ フローズン・ビーチ 作: ケラリーノ・サンドロヴィッチ

〈マーキーホール〉
出演 / 石田えり、松田美由紀、渡辺真起子、山口美也子



8 (土) ■ 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「三ヶ島亭」

〈三ヶ島まちづくりセンター〉



8 (土) ■ 平成25年度優秀映画鑑賞推進事業 MUSE 名画シアター

9 (日)

〈マーキーホール〉



2013 12 / 2 (月) ・ 3 (火) ・ 5 (木)

アウトリーチ出前寄席 〈所沢市内小学校 6校〉

写真撮影 / 谷亮 (12/7、21、1/18)、津田資雄 (12/8、14マーキー)、佐藤清一郎 (12/14アーク、20、1/11)、西山元博 (2/1) (以上、市民カメラマン)、上原淳作 (12/15)

次回のインフォ・マートは2014年5月10日発行予定です。どうぞお楽しみに。